

令和4年1月26日

戸田市長 菅原 文仁 様

戸田市議会市民生活常任委員会
委員長 そごう 拓也

戸田市スポーツセンターの建て替えを含めた再検討を求める意見書

当委員会では、去る平成28年2月に戸田市スポーツセンターの改修による長寿命化を図ることの提言書を提出した。これに基づき、令和4年度に大規模改修が予定されていた同スポーツセンターは、当初、大規模改修全体での工事費は35億5,000万円であったが、その後、工事内容の精査により、18億9,000万円まで縮減できたとのことであった。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、今後の公共施設整備は、見通しが不透明であることから、緊急度や優先度等を考慮し、同スポーツセンターの改修は先送りとなった。

このような背景から、当委員会として、行政視察等を実施し、機能面やコスト面について調査・ヒアリングを行ってきたところであるが、同スポーツセンターが市民にとってより良い施設となるために、下記の事項について検討するよう求める。

記

1. 工事延期の期間に、現在の長寿命化による改修案のみならず、建て替え案についても十分に検討すること。
2. 1の検討に当たっては、施設のコンセプト（スポーツだけではない健康づくり、地域コミュニティ、介護予防等）、機能面（防災機能、福祉機能）、コスト面、敷地面積との兼ね合い等により検討すること。
3. 戸田市スポーツセンター固有の問題として、駐車場、周辺施設との連携についても視野に入れ検討すること。

各自治体のスポーツ施設整備内容の動向

<テーマ>

施設の運営というハードだけではなく、ソフトの面も含めた、地域の健康づくり。

健康増進、コミュニティづくり、人材育成、複数の分野にまたがる総合的な関わり方が、地域の健康増進、地域のために役立つ。

<船引コミュニティプラザ（福島県田村市）>

介護予防で培った地域とのつながりで、地域包括支援センターと連携し、介護予防事業との連動により、前年度より利用者数が183%増となった。



田村市船引コミュニティプラザの運営実績

【取り組み内容】

- 地域包括支援センターとの連携
- 県立高校への部活動支援
- 地域イベントへの参加
- ルネサンスオンラインプログラムの提供
- 介護予防事業との連動
- 市の健康増進事業等の連携



<エフピコアリーナふくやま（福山市総合体育館）>

体育館だけではなく、ジムの他、ボルダリングのクライミングウォールやスケートボードができるスペースがあり、地域住民の集まりの場として機能している。



<フィットネススタジオ パル（鳥取県伯耆町）>

中庭に芝生を敷き、そこに地域の方が集まれるようにした。その結果、いろいろなクラブを通じた、地域の方のコミュニティが形成され、各種イベント、子供の運動教室や、会員同士で結婚したりと、いろいろな交流が生まれている。

フィットネススタジオ パル
2017年4月OPEN
幅広い年代が利用する大きなコミュニティ拠点を創出

専用ジムセンター
趣味のバー（温泉施設）
家族まるごとゾーンを創出し、コミュニティの活性化

パルプラス中心
当施設は、さまざまなスポーツクラブや地域の活動の拠点として、地域の活性化に貢献しています。

OPEN 年 年利用者数1万人 約13万人

地域の心 子育て支援
各々の興味、関心
クラブ単位 500名
年間売上約1,000万円以上

コミュニティイベント

スポーツイベント
イベント
講習会

家族の絆を深めるイベント

家族の絆を深めるイベント
家族の絆を深めるイベント
家族の絆を深めるイベント

建物概要

所在地：東京都中野区新井3-37-78
契約形態：デザインビルド方式
実施設計・施工一括発注
構造：鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造
地下2階地上3階建て
建築面積：6,122㎡
延床面積：12,491㎡
着工：2018年2月
竣工：2020年7月末
開館：2020年10月1日
駐車場：約43台 ※隔地駐車場
障害者用駐車場 2台
荷さばき用駐車場 2台
駐輪場：約260台
総工費：約96億円



施設の機能

各競技の公式規格に準拠した本格的な競技大会が行えるメインアリーナや、床面に長尺弾性塩ビシート（タラフレックス）を採用し、障害者スポーツを含めた多様な用途に対応するサブアリーナのほか、武道場、多目的室、会議室などを配備した総合体育館です。

また、平和の森公園利用者も利用可能なエントランス、テラス、カフェスペースなど憩いのスペースとしての機能も備えているほか、ユニバーサルデザインや性的マイノリティの方に配慮した「だれでもトイレ」や「だれでも更衣室」を整備しており、だれもが安心して利用できる施設となっています。

さらに、災害時には、帰宅困難者の一時滞在場所や各種支援団体の活動拠点として活用するため、およそ2,600人分の備蓄物資を備えるとともに、施設を72時間稼働することができる非常電源装置を配備しています。

施設の機能

1) 環境配慮について

隣接する中野水再生センターから供給される下水処理水の熱を利用した空調設備で温室効果ガスの削減に寄与しています（個別施設では都内2例目）。また、区民の通常利用としても使いやすく環境に優しい自然採光や換気窓の利用や太陽光発電設備も備えています。

2) 災害時の活用について

災害時には、帰宅困難者の一時滞在場所や各種支援団体の活動拠点として活用するため、備蓄倉庫や非常用発電機を備えています。また、区の災害対策本部の代替施設としての活用のため、用途係数は災害応急拠点と同じ1.5として地震に備えている。

3) 下水処理施設との複合施設

建設敷地は東京都下水道局の敷地のため、下水道施設の別棟増築としており、体育館地下に下水処理施設の換気ファンルームを設置している。また、将来の下水処理施設建設のため、体育館地下の構造を橋梁状とし、後から地下に建設できるようにしている。

4) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会公式練習会場

2021年に開催予定の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において、当施設は「卓球」競技の公式練習会場に内定しており、世界各国の選手が練習を行う予定です。

5) ネーミングライツ制度の導入

2019年12月より当施設のネーミングライツ・パートナーを募集し、2020年8月にキリンビバレッジ株式会社（中野区に本社）とネーミングライツ付与契約を締結しました。

本契約により、中野区立総合体育館の愛称は9月20日より、「キリンレモンスポーツセンター」となり、相互に協力し地域活性化に取り組んでいく予定です。

主な施設と機能



メインアリーナ
Main Arena

アリーナ面積 1,750㎡
(39m×45m)
天井高 17m
競技用コート
バスケットボール2面
バレーボール2面
バドミントン8面
テニスコート2面 など
観客席 804席
(1階120席、2階684席)
(車椅子席16席)
床仕上げ フローリング
付帯設備 主催者席
放送室(音響設備)



主催者席
Main Arena

ランニングコース
Running course

メインアリーナ2階観客席外周 190m
床仕上げ スポーツフロア



トレーニング室
Training room

面積 約300㎡
天井高 約3.5~6m
床仕上げ スポーツフロア
付帯設備 ランニングマシン6台
エアロバイク4台
クロストレーナー2台
リカレントバイク3台
ニューステップ2台
各種筋力系マシン
視機能トレーニング
体組成計 など
備考 クライミングウォール併設
(高さ4~5m)



カフェ
Cafe

営業時間：
午前11時30分～午後3時30分

軽食や飲み物等を販売予定
営業時間外はラウンジとして利用可



キッズスペース
Kid's Space

付帯設備 ウレタン遊具
絵本 など

※新型コロナウイルスの影響で当館の間、遊具等の設置なし



隣接する中野水再生センターから供給される下水処理水の熱を利用した空調設備

性的マイノリティの方に配慮した「だれでもトイレ」や「だれでも更衣室」を整備しており、だれもが安心して利用できる施設



施設概要

所在地	埼玉県川口市上青木三丁目1番40号
主要用途	高等学校
施主	川口市
設計	株式会社 久米設計
規模	
敷地面積	49,620.73 m ² (計画通知敷地面積 49,535.91 m ²)
建築面積	13,552.58 m ²
延床面積	31,631.68 m ²
建蔽率	27.35%
容積率	61.41%
最高高さ	21.886m
期間	
設計期間	2013年7月～2015年5月末
施工期間	
校舎棟	2015年10月～2017年12月末
アリーナ棟	2019年1月～2020年12月末
グラウンド	2020年9月～2021年8月末

アリーナ棟・屋外運動施設概要

(1)工期:平成30年12月21日から令和3年8月31日

(2)工事概要

1期工事(校舎棟)は、平成29年12月に完成し、平成30年4月に開校しました。
その後、既存校舎の解体の後、2期工事としてアリーナ棟、中央広場、弓道場、既存ブル改修工事に着手し、令和2年12月末に完成しました。

また、上記工事と一部並行して、既存体育館と旧上青木公民館の解体工事をおこない、その後、人工芝のグラウンド整備工事を実施し令和3年8月に完成しました。

(3)施設の特徴

バスケットコート3面、観覧席480席を完備した大アリーナを有するアリーナS棟をはじめ、校舎棟とつながる中央広場を中心にキャンパスロード(東西横断)や弓道場、400mトラック、人工芝のグラウンドなど完備しています。

また、地域の避難施設としての備蓄倉庫、炊き出し設備(校舎等)、マンホールトイレ、要救護者を収容できる合宿所(アリーナS棟39畳:107.18m²×4室 非常電源対応)を整備しています。さらに、県産木材の活用を図っています。

体育施設における災害機能

<災害対策>

- ・当該地区の避難施設として、防災備蓄倉庫を設置
- ・非常用自家発電機を設置。(約3日間を想定)
⇒アリーナ棟ほか、教室棟の事務室、職員室、トイレ等の照明、コンセント、空調機などに電源供給
⇒トイレの水は、校舎棟地下にある雑排水槽の108トンの雑排水を使用
※ 教室棟:炊き出し対応回転釜(水道直結/プロパンガス)

<環境対策>

アリーナS棟屋上に電気容量20Kwの太陽光発電パネルを設置

施設規模及びコスト

	規模、構造	諸室	金額
校舎棟	建築面積 5,944.55 m ² 延床面積 21,041.03 m ² 地下1階地上5階 RC造一部S造	普通教室 ・全日制:36室 ・定時制:16室 ・附属中学校: 室 特別教室 管理諸室 大ホール:500席	約92億8,300万円
アリーナS棟	建築面積 4,447.77 m ² 延床面積 7,086.43 m ² 地上4階 RC造一部S造	大アリーナ:2,600 m ² ・バスケットゴール3面相当 ・収容人数:1,360人 (換気量から) 観客席:480席 部室:24室、宿泊研修室:4室 ミーティングルーム:2室	約35億2,400万円
アリーナN棟	建築面積:1,509.46 m ² 延床面積:2,387.56 m ² 地上2階 RC造一部S造	柔道場、剣道場:各2面 中アリーナ:440 m ² 小アリーナ:300 m ² トレーニングルーム	約16億3,300万円
中央広場	建築面積:965.26 m ² 延床面積:135.57 m ² 地上1階 RC造	備蓄倉庫、トイレ	約3億4,300万円
弓道場	建築面積:138.81 m ² 延床面積:100.03 m ² 地上1階 RC造		約7,700万円
グラウンド	陸上トラック:ウレタン舗装 400m×2 100m×2 砲丸投げエリア、走り幅跳び、走り高跳び サッカーコート:ロングパイル人工芝 103.5m×68m テニスコート:砂入り人工芝 4面 ナイター照明、ミスト散水		約3億6,000万円

※ 上記金額は、設計金額です。

体育施設と機能



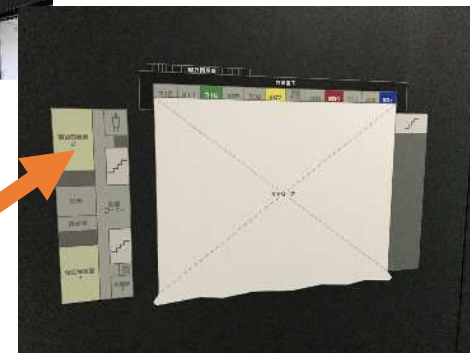
400メートルトラック内には、サッカーコート1面を整備

バスケットボールコート3面と観客席480席を整備したアリーナ棟



配管がむき出しとなっているが、あえて天井をなくしたことで、上からの落下物がない。

宿泊研修室は、災害時には避難所としても活用される。



災害用マンホールトイレとその説明表示。
自然と生徒たちの防災に対する教育につながっている。

